

## NEWS RELEASE

# 米国株式アクティブ残高10年連続世界No.1ティー・ロウ・プライス<sup>1</sup> 3人に1人が「定年後も働く」 - 老後資産形成のグローバル意識調査

世界5カ国の退職貯蓄者を対象に、退職後の資産形成に関する行動・優先事項・課題を可視化

東京、2025年12月8日 – 米国メリーランド州ボルティモアを本拠に世界16カ国で投資運用サービスを展開し、アクティブ運用において業界をリードするグローバル資産運用会社、ティー・ロウ・プライスの日本法人ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者：本田 直之）は本日、退職後の生活に向けて行う資産形成に関する初のグローバル調査結果を発表しました。

「2025年 老後資産形成に対するグローバル意識調査 - Global Retirement Savers Study」では、退職後の生活に備えて資産形成を行う世界の個人投資家（退職貯蓄者）のうち、定年後も少なくともパートタイムで就業する意向を持つ人が約34%に上ることが明らかになりました。米国ではこの傾向が特に顕著で、37%が定年後の就業を見込んでいます。当社は、米国や香港を中心とした「定年後の再就業（アンリタイア）」の動向を継続的にモニタリングしています。

本調査は、米国、日本、オーストラリア、カナダ、英国の5カ国において、退職後の資産形成に取り組む7,000名超の退職貯蓄者を対象に実施しました。回答者の50%が「2026年半ばまでに景気後退が起きる」と予想し、主要な懸念事項としてインフレ（42%）、地政学リスク（30%）、金利（27%）を挙げています。さらに、17%が「退職後に資金が不足する可能性がある」と認識しており、定年後に大きな金融ショックが生じた場合でも耐えられると高い自信を持つ人は27%にとどまりました。

グローバル・リタイアメント・ストラテジストのジェシカ・スクラファニは次のように述べています。「リサーチは当社のすべての取り組みの核となるものです。世界の退職貯蓄者のニーズの変化を捉えることで、求められる支援を適切に設計することが可能となります。平均寿命の延伸、金融・経済の不確実性、変化する退職後への期待により、退職は固定された到達点ではなく、ライフステージに応じて見直しが必要な継続的なプロセスへと変化しています。こうした意識の変化を解明することで、経済的安定、自信、そして将来に対する前向きな見通しを高める戦略・ソリューションの提供につなげができるのです。」

## 調査結果ハイライト：

- **経済見通しは地域で大きく相違。**日本とカナダでは悲観的な見方が強く、それぞれ62%および56%が景気後退を想定。一方、米国、オーストラリアおよび英国では比較的楽観的な見方が多く、近い将来の景気後退を見込む割合は半数未満。
- **退職に関する自信は世界的に低水準で、男女差が顕著。**定年後に「現役時と同等以上の生活水準を維持できる」と考える人は全体の31%。日本・オーストラリアでは悲観的な見方が強く、英国では相対的に楽観的見方が高い。男女差も明確で、特に単身女性は、男性に比べ退職への自信が著しく低い。オーストラリアでは、男性の31%が高い自信を示す一方、女性は15%にとどまる。
- **定年後への期待感は、金融面の自信と準備状況に相關。**世界全体で約3分の1が定年後を「楽しみにしている」と回答。こうした楽観的な見方は、比較的高収入の層や既婚者で顕著（既婚39%／単身30%）。自身の資産目標の達成に向けた進捗を実感している割合も、楽観的な層で約2倍。
- **主要な相談先は職場由来のリソースと人的アドバイザー。**世界の退職貯蓄者が頼りにしている相談先上位4つのうち3つが企業年金制度・福利厚生・従業員向け金融教育等の職場関連で、米国でその傾向が特に強く見られる。一方、日本の回答者は他地域に比べ、自己判断・自己運用志向が相対的に強い傾向。デジタルツールが普及するなかでも、対面による人的アドバイザーは依然不可欠で、退職給付制度の記録管理機関（レコードキーパー）と並び、世界で最も信頼される助言源となっている。

グローバル・リタイアメント・ストラテジー統括責任者のマイケル・デイビスは次のように述べています。「当社はグローバルでの事業拡大に際し、獲得した知見を具体的な施策へと転換することに注力しています。本調査による知見は、当社のソリューション開発の指針であると同時に、雇用主、運用受託機関ならびに政策当局とのパートナーシップの在り方を導くものです。当社が事業を展開するすべての地域において経済面での自信を強化し、より良質な退職後の生活の実現に貢献してまいります。」

ティー・ロウ・プライスは、変化する投資環境と投資家の皆様の様々なライフスタイルに対応した運用サービスを通じて、お客様一人ひとりの資産形成目標の実現をサポートしてまいります。

## ティー・ロウ・プライスについて

1937年に設立されたティー・ロウ・プライス（NASDAQ-GS: TROW）は、アクティブ運用アプローチによる優れた投資運用サービス、リタイアメント資産形成におけるリーダーシップ、独自のファンダメンタル・リサーチが高く評価されるグローバルな資産運用会社です。85年余りにわたり培った運用の知見を活かし、高度な投資判断へと導く求めにより厳しく課題意識を持って企業調査に臨み、お客様の豊かな資産形成の成就を私たちの目標として取り組んでいます。誠実さを重んじお客様の利益を最優先とする企業文化のもと、ティー・ロウ・プライスは変化する市場環境において、長期的な運用目標を達成するためのサポートを世界中のお客様に提供しています。2025年9月30日現在の運用資産は1兆7,700億米ドル<sup>2</sup>に上り、運用資産の約3分の2はリタイアメントの資産形成に関連したものとなっています。ティー・ロウ・プライスに関する最新情報は[troweprice.com/newsroom](https://www.troweprice.com/newsroom)にてご覧いただけます。

## メディア関連のお問い合わせ先:

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

能田映子

03 6758 3820

[eiko.noda@troweprice.com](mailto:eiko.noda@troweprice.com)

## 重要情報

当資料は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクおよびその関係会社が情報提供等の目的で作成したものであり、特定の運用商品を勧誘するものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料はティー・ロウ・プライスの書面による同意のない限り他に転載することはできません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（<https://www.troweprice.com/en/intellectual-property>）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。

**ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第3043号

加入協会：一般社団法人 日本投資顧問業協会／一般社団法人 投資信託協会／

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<sup>1</sup> Pensions & Investments による世界の運用会社を対象にした年次調査。適格退職年金、基金、財団などの米国の非課税機関投資家向けの運用資産残高（外部委託を除く自社運用分、2024 年末時点）が集計対象。ティー・ロウ・プライスの運用資産残高は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクのみが集計対象です。

<sup>2</sup> グループ全体の運用資産残高には、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク及び関連投資顧問による運用資産残高を含みます。これは暫定データであり、調整される場合があります。